

(株)テレビ朝日 ARK放送センター Aスタジオ 照明改修



所在地：東京都港区六本木1-1-1
(ARK放送センター内)
スタジオ面積：約726㎡
施主：株式会社テレビ朝日
照明改修施工：東芝エレクトロエンジニアリング㈱
照明改修完成：平成24年3月

S166

港区六本木1丁目のアークヒルズにある、テレビ朝日ARK放送センター。ニュース番組や情報バラエティの制作に使われていたAスタジオの照明・調光設備等が改修され、デジタル放送時代にあふさわしい先進のスタジオ照明設備になりました。

ドラマを中心に様々なジャンルに対応できるように先進の照明設備に更新

生放送の報道番組から収録スタイルを主とするドラマやバラエティなどのスタジオとして活躍してきたテレビ朝日ARK放送センターAスタジオ。長年の使用による老朽化や設備の安全確保、デジタル化への移行などにより、平成24年3月、照明設備をはじめ、美術、映像、音声を含めた大規模な放送設備の全面改修が行われました。照明設備においては、調光器盤、調光制御機器、照明用ネットワークインフラ設備、昇降設備などを更新し、ドラマを中心として様々なジャンルに対応できるように、今後の展開を見据えながらの設計となっています。

どの場所からでもオペレートできる環境にするためイーサネットによるネットワークを構築

今回の照明更新の大きな特長は、仕込み時間短縮による照明デザインの進化が得られ、演出サイドの意向をどの場所でも瞬時に対応可能にするため、スタジオ内をイーサネット構築としたことです。このため、調光操作卓は既存では調光操作卓と回路機能が一体となっていたものが、更新ではこれをセパレート化し、回路制御卓と位置付けてネットワーク化の中核機能の役割を果たしています。これにより、回路制御卓を主としてデータの交換や制御する機器および操作卓を選ばずともスタジオ内のオペレートを簡便に行えるようになりました。また、イーサネットを導入しHUBを経由することにより、複数の機器との通信や規格の異なるプロトコル通信がケーブル1本ですむようになりました。

ボタン昇降操作盤は、今回の改修では照明ボタン操作盤と照明点灯操作盤を一面に一体化し、オペレーターがその場で効率よく全ての操作を行えるようになっています。また、ギャラリーにも新たに可倒式の昇降操作盤を設置。使用時は横に寝かせて使用できるようにし、狭いスペースでも対応可能としています。

更新した各種照明ボタンは、ボタン中央にボタンごとにDOWNは赤、UPは緑、STOPは黄のランプを点灯させてスタジオ内でのボタンの位置・状況を確認できるようになっています。



天井から昇降する各種照明/ボタン(エリアボタン52本、バックボタン14本、ホリゾントボタン14本)が整然と並ぶAスタジオ内



バーサステーション改造型メイン調光操作卓



回路制御卓(32型タッチモニター式)



照明ホリゾントボタン切替BOX(操作棒による操作可)



照明ボタン昇降・点灯操作盤



照明ホリゾントボタン



ギャラリー昇降操作盤

主な照明器具一覧				
設置場所	機器名	台数	備考	
調光器盤室	調光主幹盤・調光分岐盤	1・4	直回路 94回路、DMX系統 88系統、Ether Net 88系統	
	インテリジェント形調光器盤(DIMSTAR-III)	6	調光器 4kW×104台、6kW×151台、10kW×64台	
	昇降主幹盤・昇降制御盤	1・6	照明/ボタン 80掛、美術/ボタン21掛 昇降制御	
副調整室	メイン調光操作卓(バーサステーション改造型)	1	PF100本×3段、ワイヤル操作パネル×1、サブマスターパネル×1(10ページ)、プレイバックパネル×1	
	回路制御卓(32型タッチモニター式)	1	32型タッチモニター(タッチモニターによるバッチ操作)	
スタジオ	照明ボタン昇降操作盤・照明点灯操作盤	1	ボタン毎 UP、STOP、DOWN昇降操作方式 照明ボタン用×80組 ほか	
	ギャラリー昇降操作盤	1	照明ボタン用×80組	
	美術昇降操作盤	1	ボタン選択、一括昇降操作式、美術/ボタン用×21組	
	照明ボタン(エリア・ホリゾント・バック)	52・14・14	器具ハイブ付、ボタン名称・端部表示3色発光表示	
	美術ボタン	21	-	
	ワイヤレス操作器(タブレットPC)	2	調光、昇降操作兼用操作器	